

やあ!

TIA news

やあ!特集

「やあ! on TV」ができるまで

- とちぎで暮らして… S.ウェル ヴィジェイさんさん(インド)
あんな店こんな店 ネパール料理「アルコタルカリ」
心に残る私の写真 ドミニカ共和国 蓮池健男さん
国際理解への扉 「消える世界遺産」



チョコレートが一番好きな国ってどこが知っていますか?「私が大好きだから日本かな…」って思いました?いえいえ、スイスなんです。世界で一番チョコレートの消費率が高いんですって。スイスと言えば…チーズ、アルプス、そして…「ハイジ」!あのブランコにみんな憧れましたよね…

S.ウェル ヴィジェイさん（44歳）

S. Wel Vijay



プロフィール

インド チェンナイ市出身。
1996年に来日。ヨガのインストラクターとして活躍するかたわら、貿易業や英語、タミール語、ヒンディー語の通訳もこなすマルチな方。那須塩原市在住。

一とても元気な方だと聞いて、お会いするのを楽しみにしていました。

ヴィジェイ 私はいつも親切なおもてなしであるホスピタリティ（HOSPITALITY）の気持ちを心掛けています。この気持ちは自分がどこにいても誰に対しても変りませんし、周囲を幸せにしてあげることが私の仕事だと思っています。

一お忙しいなかインド料理まで作っていただきありがとうございます。



▲ヴィジェイさんの手料理と愛娘さくらちゃん

ヴィジェイ 実は4年間あまり日本人の妻とインド料理レストランを経営していたことがあるんです。料理の専門知識がなかったので、イン

ドの実家の母に電話して聞いたり、在日インド人に一番人気のある東京のインドレストランで勉強させてもらったり、とにかく自分の舌で覚えた味を納得のいくまで追求しました。

一本当においしいですね。味に深みと広がりがあって、そして少し辛いけどやわらかいというか…優しい味ですね。
ヴィジェイ 料理は作る人の心にとても影響されます。料理学校などでインド料理を教えることもありますが、食材、調味料、手順まで同じにしても、作る人によってみんな味が違います。美味しく食べてもらいたいと愛情を込めて作れば、食べる人に伝わるんですよ。

一ところでヨガの先生とうことですが、ヨガは今すごい人気ですよね。

ヴィジェイ ダイエット目的で来る方もいますが、「ヨガ」とは自分の心をみつめることで、「呼吸」「瞑想」「ポーズ」の3つで成立っています。

まずは座って呼吸を意識します。自分の呼吸をコントロールできなければ、何もコントロールはできません。「自分を知る」というお手伝いをするのが私の仕事で、ヨガによって開かれた自分の道を歩くのは生徒さん自身です。

私たち幸運になるために生きています。私は一度の人生では足りないくらいやりたいことがいっぱいあるんですよ！



▲ヨガ教室で指導するビジェイさん

世界をペロリ

ネパール料理「アルコタルカリ」

材料(4人分): ジャガイモ 中6個

レッドオニオン	中1個(黄タマネギでも可)
しょうが	6g
にんにく	6g
トマト	中1個
クミン	5g
ターメリック	2g
塩	5g
唐辛子の粉	少々
水	50cc

このコーナーでは世界のおいしい食べ物をレシピ付で紹介します。



作ってくれたのは、宇都宮市在住の岸田カルバナさん。これはネパールのいなか料理だそう。ネパールは固くてよく噛む食べ物が多いんですって。だからカルバナさんは白い歯キラリ“☆”なのかな？



素朴であったか～い味なのに、けっこう辛いのだ！



①クミンをすり鉢です。水を少し加えるとすりやすい。しょうが、にんにくもすって香りを出す。



②紫タマネギは普通の黄タマネギより甘味があるので味がとがらない。じゃがいもはくし形がたに切る。



③フライパンにタマネギ、じゃがいもの順で油で炒め、しんなりしたら①と塩を加える。



④水、半月型に切ったトマトを混ぜふたをして少しこトコト煮たら出来上り！

「とちぎ留学生奨学金」奨学生活動報告会



今年度から始った「とちぎ留学生奨学金」を受給している県内大学の留学生が集り、地域の交流やボランティア活動などを報告する会が1月14日(土)にとちぎ国際交流センターで行われた。奨学生の選考委員の方々も迎え、活発な質疑応答もあった。

留学生たちは、地域交流や協力をどこでどのような形でやっているのだろうか。

足利工業大学の曹俊東(中国)さんは、近隣の高齢者施設で食事の介助や車椅子を洗うなどの活動をしており、このボランティア体験を通して高齢者の方々との心の触れ合いや自分も地域の一員だと実感していると語った。また足利を訪れた中国済寧市の訪問団の通訳にも挑戦したり、日本人に中国語を教えることも、中国を知ってもらえるいい機会だと意欲的だ。

昨年10月に行われたTIA主催の「とちぎインターナショナルフェスティバル2005」での体験を発表する留学生も目立った。

留学生同士で話し合い、出身国に関連のある民間団体に協力したり、中国出身



▲フェスティバルでは中国茶や小物を紹介



▲選考者からもたくさんの質問が出た

留学生で「茶友会」というブースを出店し来場者にお茶などを通して中国文化を知ってもらう企画を実行した。茶友会に加わった宇都宮大学工学の林楠さん(中国)は楽しかったけど疲れた、お客様の心をつかむのは難しいと語った。



▲活動内容を発表する留学生

白鷗大学経営学部の楊映(ヨウエイ)さん(中国)は経営を勉強しても実際には難しいことが分った、やはりみんなと力を合わせることが大切だと話した。

このほかにも文星芸術大学の白成淑(パクソンスル)さん(韓国)は自ら交流パーティーを企画したり、ボランティアに取組むうちに相手の立場に立って考えられるようになったと振り返った。



▲とちぎインターナショナルフェスティバルで手伝う奨学生

みんな店こんな店

本場中国 手作り餃子の店 和の中



▲これがうわさの石焼餃子チャーハン



▲店内のインテリアがステキ



▲趙さんに中国茶の入れ方を伝授

中国料理のとてもステキなお店があるとの情報をいただいた。中国人のご主人と日本人の奥様の国際カップルがやっているという…

早速お店へ取材の申し込みをし、餃子の皮を作っているところを見たいと言ってみると、「それはどなたにもお見せしていないんです…」との返事。ますます気になるが、とにかく取材はOKだったので店に向かった。

お店に入ると奥様が迎えてくれ、とってもキレイ方なのでじいっと見つめてしまった。

さて、店内は外観とは違い、意外と広々としてインテリアがおしゃれ。派手な飾りはなくスッキリとしていて、一つ一つの小物に愛情が込められているのがわかる。

メニューを見ると、迷うくらいいろんな料理や飲み物。「とろけ~るチャーシューのレタス巻き」、「餃子雑炊」、「玄米コーヒー」それから「烏龍キャラメルラテ」等々いろいろな味なんだろう!ワクワクするね。

でもやっぱりちょっとずついろいろ食べてみたい方にぴったりのランチやディナーのセットが5種類から選べる。一番人気の「石焼餃子チャーハンセット」は、気まぐれ前菜、薬膳スープ、デザート、コーヒーもついて1,050円!かなりお腹がいっぱいになる。

「和の中」に来たらゆで餃子は外せない。皮から自家製で、漢方にも使われる13種類もの香辛料で具を練り上げたとい

もの。焼き餃子に慣れている私たちにとって、とてもヘルシーな感じだし、皮に厚みがあって食感もホントにプリプリ。また、デザートのマンゴープリンや杏仁豆腐も繊細で濃厚かなめらか。

店長で中国出身の趙景春さんは、幼い頃小柄だったため、心配したご両親が漢方を混ぜた料理を毎日食べさせてくれたという。「『和の中』とは日本の中の中国、そして人の和を大切にしたいといういろんな意味が込められています。また、中国の本場の餃子を味わってほしいし、健康になれる料理を提供していきたいですね。」とお話を伺った。

趙さんはとてもていねいに質問に答えてくださり、お会いできて本当に良かった。和の中の時間が、みなさんのお腹と心を満たしてくれますよ~。

手作り餃子の店 和の中

営業時間

ランチ 11:30~14:30

ディナー 17:00~21:00

(月曜定休、

月曜祝日の場合翌日休み)

住所 宇都宮市駒生町1296-33

TEL 028-624-7886 FAX 028-624-7886



※餃子のお土産・地方発送あり

やあ! on TV

ができるまで

やあ! on TV

- 記念すべき第1回はTIA(栃木県国際交流協会)がどんなことをやっているか紹介。事務所のあるとちぎ国際交流センターの中の案内も。
- 1999.12.15 O.A
- 第2回もTIAのイベント紹介など。中盤に当時のTIAのCMも流れるおまけ付き。 2000. 3.14 O.A
- 「みんな地球人」 2000. 8.28 O.A
- 「テレビDE国際理解」 2000.10.23 O.A
- 「外国人のお正月」 2001. 1.22 O.A
- 「アッとホームなビデオ作家たち」 2001. 3.26 O.A
- 「KI・DO・AI・RAKU(喜怒哀楽)」
- 家族編 2001. 9.17 O.A
- 留学生編 2001.11.12 O.A
- 子ども編 2002. 1.21 O.A
- 社会人編 2002. 3.18 O.A
- 「みんなイキイキ輝いている！」
～国際協力最前線レポート～
- PART1 2002. 8.25 O.A
- PART2 2002.11. 3 O.A
- PART3 2003. 1.19 O.A
- 「ホレホレ博士とバカタンの
みんなのくらしを教えてね
～韓国・タイ・インドの文化紹介～」 2003. 2.15 O.A
好評につき、放送番組はビデオ
レビューも果たす…
(TIA図書室で、視聴、貸出しも
行っています)
-
- 「もうひとつの南米、そして未来に」
～とちぎに暮らす～
～ブラジルに根づく～
～ペルーに根づく～
～とちぎでがんばる～
- 2004. 3. 6 O.A
- 2004. 3.13 O.A
- 2004. 3.20 O.A
- 2004. 3.27 O.A
- ビデオタイトルは
「ホレホレ博士とバカタンとアリリ
のみんなのくらしを教えてね～
ブラジル・ペルーの文化紹介」
-
- 「とちぎに暮らす外国人TOP5」
～フィリピン～ 2005. 3. 1 O.A
- ～韓国～ 2005. 3. 2 O.A
- ～ペルー～ 2005. 3. 3 O.A
- ～中国～ 2005. 3. 8 O.A
- ～ブラジル～ 2005. 3. 9 O.A
- 「とちぎに暮らす外国人～全員集合！～」 2005. 3.10 O.A
- 「栃木的地球人」 2006.3.7 19:55よりとちぎテレビにて放送

私たちTIA(栃木県国際交流協会)の主な仕事の一つに、国際理解を広めることがあります。この機関紙「やあ！」をみなさん読んでいただくこともそうですが、テレビで発信することにも取り組んでいます。名付けて「やあ! On TV」。今回のやあ!特集は、TIAのテレビ番組についてじっくりご紹介します。

今回の番組づくりのながれ

主にTIA担当
主にテレビ局担当

まずテーマを決める。どんな内容にするか、予算に合わせて放送の時期・時間帯・番組の長さを検討し、アイデアをまとめる。

テレビ局番組担当者との打合せでこちらのコンセプトを伝える。



栃木県に住んでいる
外国人の『元気』を
伝えたいんです!

出演者を募集・選考

出演者決定後、ディレクターと出演者が撮影場所や日時などの打合せ。その後の場所取りや関係者への連絡業務はアシスタントディレクターのお仕事



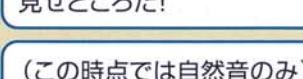
構成台本を作成

台本はTIAが入念にチェック

撮影準備



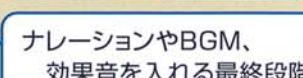
いよいよ撮影



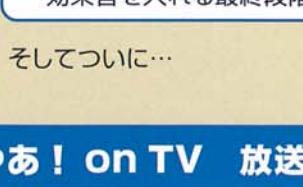
撮影された映像の編集



編集されたものを試写



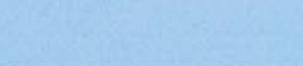
ナレーションの台本作成



MA(マルチオーディオ)

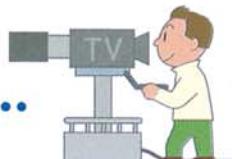


放送用ビデオテープが完成



やあ! on TV 放送

撮影ってこ～んな感じ…



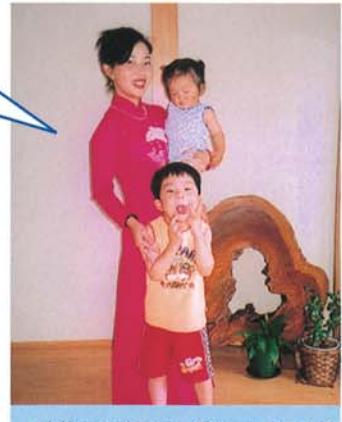
栃木で頑張る
外国人を
見てください !!

今年のやあ! on TVは6回の放送ですが、そのうちの1回に出演者として選ばれたベトナム出身の鈴木リューさんの撮影現場にお邪魔しました。

リューさんは来日して7年。右の写真のとおり、5才と2才のママであり、老人福祉施設にヘルパーとしてお仕事もされています。バリバリ強い方かなあと思ってお会いしたところ、とーっても優しくてきさくにお話してくださいました!「TIAに遊びに行きたいと思ってるんだけど、なかなか時間がなくて…」とリューさん。いえいえ、そのお言葉だけでも十分ありがとうございます。

TIAの番組出演者募集に応募したきっかけは、外国人がテレビに出ていているのを見て、私も出てみようかなと思ったとのこと。

撮影頑張って下さい!



▲家族との時間が一番ホッとするそう

●月▲日 13:00 撮影開始

撮影現場:リューさんの勤務先

出 演 者:リューさん、

日本人の同僚の方々、

入居者のみなさん

天 気:晴れ

撮影スタッフ:ディレクター、
アシスタントディレクター、
カメラマン、
アシスタントカメラマンの計4人
(意外と多いんですね)



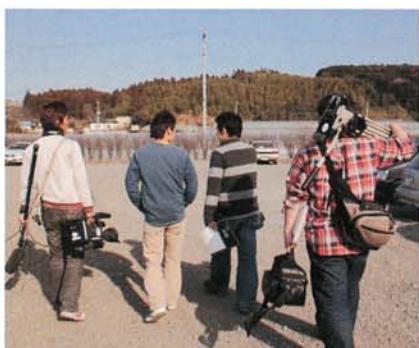
て抜かして待ち構えます。「ちょっとそこで止まっていてくださいー」なんて注文はいっさいしていません。



ボールを投げっこしたり、犬と遊んだりと楽しく過ごすみなさん。「いいよね～こういうの…」と撮影スタッフ。見ている私たちも和やかな気持ちになりましたよ…。



散歩から帰ると、ケアハウス内のダイニングで一休み。カメラを向けられ戸惑う入居の方に、手を取り励ますリューさん。



▲お疲れさまでした!
右端のAD小野瀬さん荷物重そうですね…

本紙の取材で撮影がお邪魔だったと思いますが、みなさんの温かいご協力のおかげでメイキングの様子をお届けすることができました!

テレビカメラを回すとき、局の方がいろいろ指示するのかと思いきや、本当にふだんどおりの仕事ぶりをカメラが追うというスタイル。栃木で頑張る外国人の自然体の姿をお伝えできると思います。

ディレクターの山口さんは常にメモを取り、進行を促し、カメラマンの方に説明し…と頭はフル稼動なんだと思いますが、ゆっくりムードで、いつも笑顔なので周囲を緊張させません。リューさんとケアハウスの職員のみなさんは、明るく元気で、笑い声が絶えないすてきな職場でした…。



写真を提供してくれたのは、宇都宮大学に在学中の蓮池健男さん。昨年、内閣府主催の国際青年育成交流事業の派遣団員に見事選ばれて、中米のドミニカ共和国を訪れたときの写真を見せてくださいました。

ドミニカの元気な子供たち

ここは小学校で、後ろに見える校舎は元倉庫だった平屋に、机と黒板を設置しただけのもの。6畳くらいに仕切られた教室には午前と午後の2つのクラスを合わせて50人の児童が勉強しているそうです。その環境は決して良いとは言えませんが、子供たちは元気いっぱいでした。

外国から来た私たちのために歌をプレゼントしてくれ、私たちもお返しに「ふるさと」を歌いました。



テレビに生出演！

日本政府の派遣団である私たちは、なんと夕方のテレビ番組に生出演することになりました！団員全員がスペイン語で自己紹介した後、ドミニカ共和国の印象や、今回の派遣の目的などいくつかの質問に答えました…。



このコーナーで紹介する写真とエピソードを募集しています。
詳しくは、協会までお問い合わせください。（☎028-621-0777）

TIAトピックス

国際理解教育ファシリテーター養成講座 活動報告会



小中高校や生涯学習施設等の講座において、国際理解教育を深めるプログラムを実践するためのファシリテーター（進行役）養成講座を、宇都宮市の当センターおよび足利市の二会場において昨年6月から桜井高志氏を講師に招き、それぞれ4回にわけて実施してきた。4回終了後、グループごとに国際理解プログラムを実施するという課題に取り組んだ。足利会場、宇都宮会場の参加者とともに、授業の実施先探しから、必要であれば講座の広報、役割分担、授業の準備を経て実際の授業を行った。最終回である第5回を11月12日(土)足利会場で、11月19日(土)宇都宮会場において、どのような授業が実践ができたか報告会を行った。

Club lycée

クラブ・リセ…TIAの高校生のための国際理解クラブの名前で、「リセ」とはフランス語で「高校」という意味。なぜフランス語？と思った高校生のあなた！いいですね～、そこから話を始めましょう。会員大募集・会費無料・年6回実施。

第26回ミーティング 11月26日(土)「バングラデシュのストリートチルドレン」をテーマにワークショップを行った。ゲストは「シャープラニールとちぎ架け橋の会」代表吉田ユリノ氏と会員の大学生。バングラデシュの現状をフォトランゲージなどをはさみ、互いに感じたことなどを話し合いながら学んだ。



▲わかりやすくお話ししてくださいました吉田ユリノさん

外国人無料法律相談会

県弁護士会との共催で、外国語通訳がつく無料法律相談会を、11月1日(火)にとちぎ国際交流センターで、11月6日(日)に真岡市公民館で行った。

TIAでは、毎年この時期に県内各地に居住する外国人も視野に入れ、宇都宮市以外の地域で法律相談会を行ってきている。

真岡市は外国人居住の割合が県内で最も高い比率となっている。



▲英語を交ぜたライさんのお話に引き込まれた…

第27回ミーティング 1月22日(日)「カリブ海の楽園・ドミニカ共和国」をテーマに、栃木県海外技術研修員でドミニカ共和国出身のライ・ペゲエロ氏と上記コーナーで写真を提供してくださった、蓮池健男氏が写真などを見せながら国の紹介をした後、「メレンゲ」ダンスを踊ったり、現地の男性に大人気のドミノゲームに挑戦、最後はスペイン語までかじって、ドミニカーン！なひと時を楽しんだ。

《会員募集中！》

第13回わいわい地球っ子クラブ ~わいわいクリスマス~

TIAのわいわい地球っ子クラブ（小3～小6年生対象の国際理解クラブ）が、12月3日(土)にとちぎ国際交流センターで行われた。参加したのはわいわいの会員29名。ゲストとして、栃木県海外技術研修員7名（ラオス、ドミニカ共和国、ブラジル、中国）とラオス出身の宇都宮大学留学生が参加した。



外国ではクリスマスをどのように過ごすかをゲストが国ごとに紹介したあとは、ドミニカ共和国のパニュエログーム、中国のハンカチ落とし、ラオスのゴム飛び、ブラジルのジェスチャーゲームをみんなで体験し、キャーキャーしながら楽しんだ！

後半は、わいわい恒例の工作的時間。世界には時差っていうのがあってね～、国がどこにあるかで、時間が大きく違うんだけど、何時間くらい違うのかがひと目でわかる世界時間表を作つてみよう！というわけで、チョキチョキ、ペタペタし完成品はお土産に。最後にクリスマスと言えばケーキ！好きなトッピングを乗せてミニケーキをみんなで作つておいしく食べた。



土曜解放講座 国際理解教育

～ユニセフを知っていますか？～

栃木県総合教育センターにおいて、12月10



▲ファシリテーターはTIA職員の鶴山

日(土)にユニセフの活動紹介や世界の状況をどう分りやすく伝えるかも考える講座を教員を対象に実施した。

ヴォークリューズ県産ワインセミナー

栃木県と友好交流をしているフランス・ヴォークリューズ県を知る



▲ヴォークリューズ県の大学生も来県し市場調査

国連協会作文コンテスト特賞受賞！

栃木県大会での優秀2作品が全国大会で特賞を受賞した。

世界平和や国連がテーマとなった今回のコンテストにおいて、足利市立山辺中学校2年の周藤有実さんが文部科学大臣賞を、さくら市立氏家中学校3年の佐々木豊さんが日本ユネスコ協会連盟会長賞をそれぞれ受賞した。

国際理解への扉　道の駅　越後湯沢

今回のテーマ…「消える世界遺産」

私の心に残る言葉「地球には国境がありません。」日本人初の宇宙飛行士：毛利 衛さんの言葉である。さて、地球上には812もの世界遺産があることをご存知だろうか。世界のあらゆる地域にはその国や民族が誇る文化財や自然環境がある。それらはその地域だけでなく、人類共通の財産として後世に残していくべき財産であり、ユネスコ（国連教育科学文化機関）が遺産をリスト化、各国の協力を得ながら遺産保護に努めている。それが世界遺産である。

世界遺産はいったん登録されれば永久にリストに載り続けるというわけではない。遺産が地震、都市開発、盗難、温暖化、紛争等で破壊されればリストから削除される可能性もある。そのような遺産は「危機遺産」とされ、カンボジアのアンコール遺

跡もその一つであった。内乱等により遺跡の一部が破壊されていたため、1992年に世界遺産に登録されると同時に「危機遺産」にも登録され、日本を始めとする国際社会からの支援により2004年に危機遺産リストから除外が決定された。

このように世界各地には十分な保護措置が行われないまま崩壊の危機に瀕している考古遺跡や歴史的建造物などが数多くある。

私たち地域の文化財や身近な自然環境が危機にさらされていましたとしら、どうであろうか。地域の文化財や身近な自然環境の素晴らしさをも見つめ直し、未来へ引き継ぐ気持ちを育てたい一という想いのもと、ユネスコは「絵で伝えよう！わたしたちの宝物」絵画展なども行っている。



「国際理解への扉」へ質問お待ちしています。
日ごろから疑問に思っていることや、興味のあることなど、お気軽にご連絡ください。

JICA 栃木県国際協力推進員 松島愛実

平成18年度JICA教師海外研修参加者募集

栃木県の教育関係者の皆さん “百聞は一見にしかず”

海外研修の経験を授業に取り入れてみませんか？

* 研修日程：平成18年8月1日～11、12日

(国内事前・事後研修にもご参加いただきます。)

* 研修国：カンボジア

(栃木県以外の方は研修国が異なります。)

* 募集〆切り：4月30日(日)

後援：外務省、文部科学省、栃木県教育委員会、(財)栃木県国際交流協会
募集要項・応募用紙ダウンロード <http://www.jica.go.jp/branch/tic/tpl/event.html>

ピーストークマラソン in とちぎ

一緒に考えてみませんか？

“一人ひとりにできること。一人のためにできること”

日時：6月3日(土)

場所：栃木県総合文化センター サブホール

JICAボランティア春募集

“世界に笑顔の種をまこう”



<OB・OGに聞ける、話せる体験談&説明会>

	説明会会場	シニアボランティア (40～69歳)	青年海外協力隊 (20～39歳)
4/9	とちぎ国際交流センター	10:30～12:30	14:00～16:00
4/22	小山市生涯学習センター	10:30～12:30	14:00～16:00

募集要項はこちら → <http://www.jica.go.jp/activities/jocv/index.html>

JICA お問合せ：JICA栃木デスク（TIA内）松島愛実

TEL 028-621-0777

jicadpd-desk-tochigiken@jica.go.jp

TIA Information Corner

TIAの国際理解クラブ 会員大募集!!

高校生のための

● Club lycée

参加者からのアイデア大歓迎!
国際的視野を身につけよう!!

活動内容 参加型セミナー、外国人との交流など

活動日 年6回

年会費 無料

小学3~6年生のための

●わいわい地球っ子クラブ

同じ地球で生活する仲間として、一緒に世界を学ぼう!!

活動内容 ゲーム、料理、工作、外国人との交流など

活動日 6・9・12・3月の年4回

年会費 1,000円

お問合せ (財)栃木県国際交流協会

☎028-621-0777

TIA法律・精神保健相談のご案内

TIAでは、通常相談のほかに、下記のとおり、栃木県弁護士会、栃木県精神保健福祉センターとの協力を得て、弁護士による法律相談及び、専門職員による精神保健相談を行っております。

外国の方や外国の方との関わりでお悩みの方は、お気軽にご相談ください。相談は相談専用の個室で行われ、秘密は厳守いたします。

どちらも無料で、予約が必要です。

※法律相談

毎月第1火曜日 10:00~12:00

※精神保健相談

毎月第1・3火曜日 15:00~16:00

外国語の対応はご相談ください。

相談のお問合せ(相談専用電話)

☎028-627-3399

TIAライブラリーコーナー

とちぎ国際交流センター1階にある

図書閲覧室のお薦め情報!!

「徹底解剖100円ショップ」

アジア太平洋資料センターPARC制作



不況の追い風を受けて急成長している100円ショップ。「これも100円?」と驚くほどの種類豊富な商品、安くて便利。でも、この安さのカラクリは何か。PARCがタイや中国に飛び独自調査を展開。100円ショップからグローバル化の問題を考える。

日本語教材いろいろ

日本語を教えるときに役立つ教科書、ビデオ、テープ、絵カード、漢字の教え方、クラス活動のヒントなど、おすすめ教材を少しずつ集めています。お気軽にお立ち寄りください!

新規賛助会員の方々

個人: 永田和男様

飯田 誠様

スプラマニアム ウエルヴィジエ様

団体: アジア国際交流会

～ご入会ありがとうございます～

財団法人栃木県国際交流協会は、特定公益増進法人（寄付金の損金算入等の課税特別措置）の認定を受けています。当協会の事業にご賛同くださる各企業、団体等からのご出捐をお願いいたします。

栃木県国際交流協会 事業案内 Tochigi International Association(TIA)

～とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室は
どなたでも気軽にご利用できます～

■相談事業

在県外国人をはじめ県民の皆さまの国際交流・国際協力に関する相談に専門の相談員が応対

■機関紙の発行・情報提供

TIAニュース「やあ！」や在県外国人向け外国語情報紙の発行
とちぎ国際交流センター内には情報交換のためのメッセージボードの設置

■各種イベント・講演会

国際交流促進や国際協力意識高揚を目的とした各種イベントや講演会の実施

■TIA協力者バンク

ホストファミリーバンク、インストラクターバンク、トランスレーターバンクの運営

■とちぎコミュニケーションネットワーク（TCN）

在県外国人のネットワーク。イベント等の情報提供、国際理解講座等への協力

*この他さまざまな事業を行っておりますので、お気軽にお問合せください。

*とちぎ国際交流センターの交流ラウンジ・図書閲覧室はどなたでも気軽にご利用できます。会議室等の施設利用についてはご相談ください。

PAPER INTERNET CD DVD FILM TV VIDEO

You can select from some Media.

株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷

本社／〒321-0904
栃木県宇都宮市陽東五丁目9番21号
URL <http://www.pto.co.jp/pto/>
E-mail s@pto.co.jp
tel. 028(662)2511(代)
fax. 028(662)4278



R100 PRINTED WITH SOY INK

本紙は環境に配慮し再生紙と大豆油インキを
使用しています。

TIA ご案内図

(財) 栃木県国際交流協会 (とちぎ国際交流センター)

Tochigi International Association
(Tochigi International Center)

JR宇都宮駅より
JR新幹線または戸祭行楽車
県庁前下車徒歩5分
5min.from Kencho-mae Stop.
JR東武宇都宮駅より徒歩8分
8min.from Tobu Utsunomiya Station

N
至 仙台 To Sendai
至 東京 To Tokyo
至 大谷 To Oya
至 大通り Odori
至 西口 West Exit
JR宇都宮駅
JR Utsunomiya Station

二荒山神社 Futaarayama Shrine
宇都宮市役所 To City Hall
県庁前バス停 Kencho-mae Bus Stop
東武宇都宮駅 Tobu Utsunomiya Station

編集・発行 財団法人栃木県国際交流協会
住 所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
T E L 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
F A X 028-621-0951
業務時間 8:30~17:15
休 館 日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日